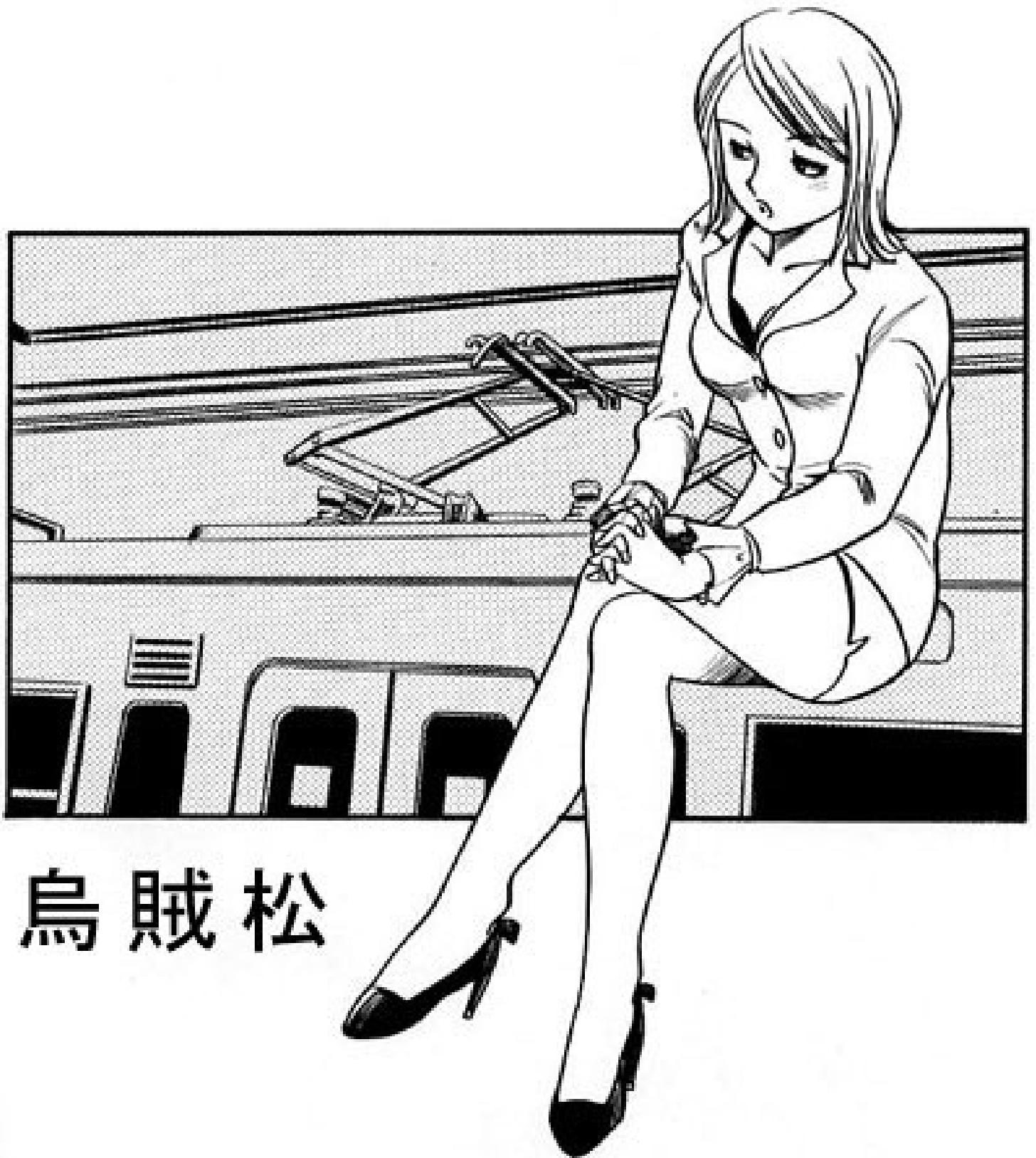


夜の各駅停車



烏賊松

残業で
帰りが遅くなった夜

いつもの俺なら
急行電車で
さっさと家に
帰るんだが

その日は
いつもにも増して
疲れていた

別にそれ以外の
理由が何か
あったワケじゃない

だから
普段はめつたに
乗らない各駅停車で
帰るコトにした

その日はホントに
ただなんとなく

いつもとは違う
電車に
乗っただけ
だった…



俺は今まで
チカンなんか
したコトもないし



しようとして
思ったけどす
なかつたのに



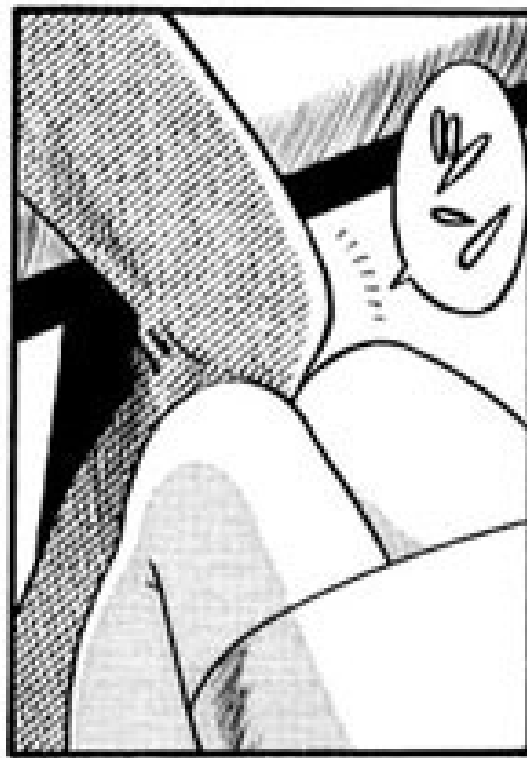
シチュエーションに
誘われたとしか
言いようのない
夜だった...

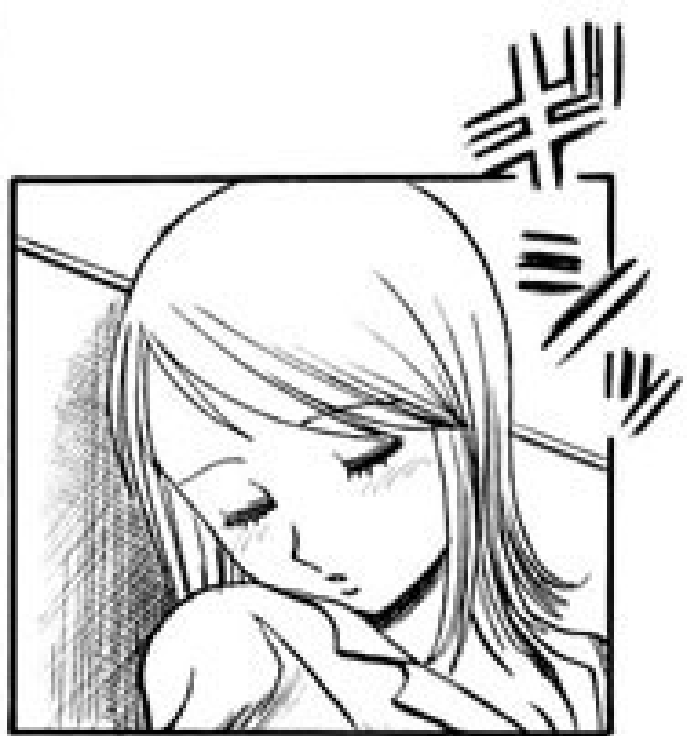


.....



も...
もうさあじりで
見えそう
なんだけどな
.....





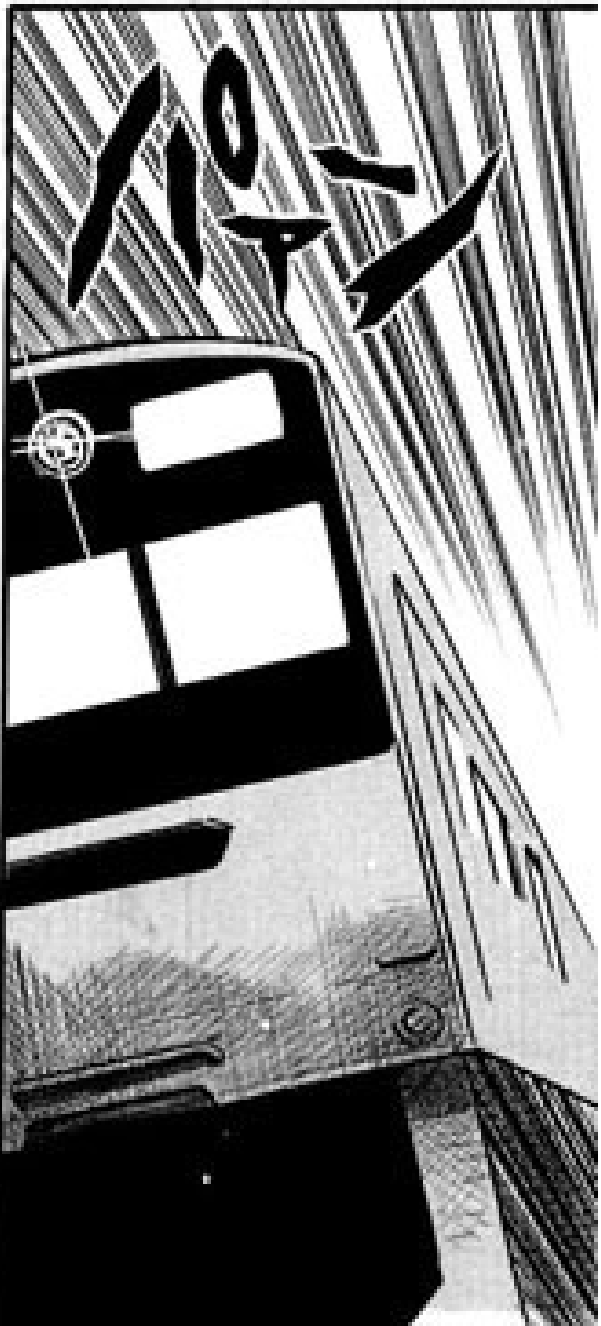
うわ…

フカフカだ…

このままでも
悪くないけど

どうせなら

ナマ乳を…!!



で…
でかい胸
だな…



いただき
ます!!



んん…



起きるなよ
まだ起きないで
くれよ





じゅわわわわわわわわ

柔らかええ



むにゅ



じゅわわわわわわわわ
の感触は
……



あれ？



もっ
もっ



……!!
ノーパンだ

……

そういえば
上もノーブラだし



なんなんだ
このオンナは？

しかも

ぬい
ゆ



濡れてる
せびじめ



こんなオンナなら

目を覚ましても
騒いだりしない
だろ！！



ん...

夜——
人もまばらな
電車のボックス席で



下着を一切
身に着けて
いない女が
無防備に眠って
いる……



後で冷静に考えれば
そんな怪しい
シチュエーションには
二の足を踏みそうな
モノだが



なにしろ
そんなチャンスは
二度とあるかどうか
分からないのだ！



その時の俺は
後先なんか全く考えず
欲望丸出しで
目の前の女体に
むしゃぶりついていた





まもなく
〇ヶ谷
〇ヶ谷
〇ヶ谷



くっせ〜
もう降りる
駅かよ…



これから
顔にぶっかけて
やろうと思って
たのに……

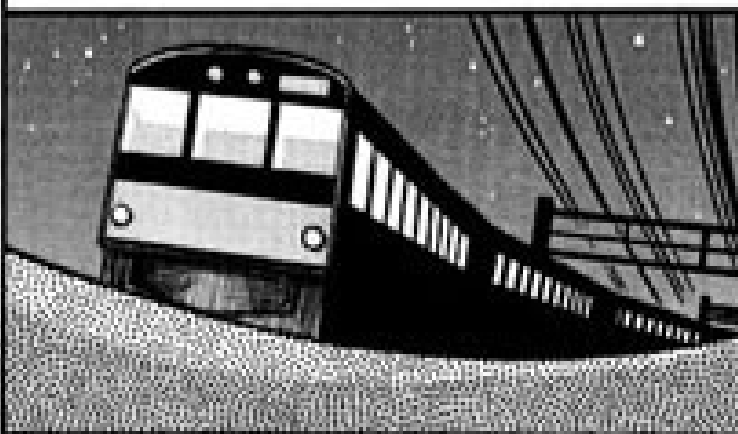
心残りだけど
仕方ないな

終電だから
乗り過ぎす
ワケには
いかない…





そして
心優しい俺は
終点までかけて
彼女の願いを
タップリ叶えてやった



やはり
彼女は初めから
寝たフリをして
チカンされるのを
待っていたらしい